

総合 太田病院だより hope ホープ

2002.9.1
No.001

発刊によせて



病院長
新原 博之

このたび総合太田病院では、来院される患者さんにもっと病院のことをよく知っていただくために、病院報を発刊することにいたしました。病院医療は今、大きな変革のときを迎えています。我々においては今まで、「病気は専門家である医者にまかせておけ。」といった古い風習にとらわれた医療が長く行われて来ました。

しかし、時代が変わり医療が大きく進歩する流れの中で、世間の医療に対する期待というものも変わってきています。「自分のからだのことは医師から十分に説明を受け、納得した上でどうするか自分で決めたい。」というのが多くの患者さんが望んでいることではないでしょうか。それがインフォームド・コンセントということです。

総合太田病院ではどんな医療が行われているのだろうか、治療成績はどうなんだ

ろうか、また医療の安全性は確保されているのだろうかといったことも、患者さんにとって大きな関心事だろうと思います。

病院医療の透明性を高める上からも、こういった疑問に対して折にふれ現状をお知らせしていきたいと考えています。

総合太田病院が目指すものは「患者さんがすべてである。」ということです。

病院で行われている医療をよく知っていただいた上で総合太田病院を信頼していただく、そのためには病院の治療方針、診療内容をすべて患者さんに分かっていたき、病院を選ぶ判断材料にさせていただくことが必要ではないかと思っています。

患者さんと総合太田病院がこの冊子を通して、より身近な関係になることを願って創刊にあたっての挨拶といたします。

病院機能評価認定を取得

【医学まめ知識】

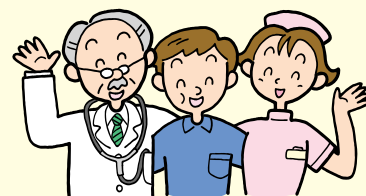
プロが教えるケガの応急処置法



Topics

東毛地区では総合太田病院が初。 病院機能評価認定 (一般病院種別B)を達成

地域の医療において、中心的で
高い医療体制を持っていることが
評価されました。



【病院機能評価認定】

当院は、平成13年10月15日（財）日本医療機能評価機構の定める認定基準（一般病院種別B）を達成しているとの認定証を取得しました。一般病院種別Bの基準を達成したということは、当院が「地域が必要としている医療において基幹的・中心的な役割を担い、高次の医療にも対応できる病院である」と評価されたことです。群馬県で4番目で東毛地区では初めての認定です。

（財）日本医療機能評価機構は、医療機関を第三者の立場で評価し、医療機関が質の高い医療サービスを提供していくための支援を行っている機関です。

評価の枠組みは、● 書面審査と ● 訪問審査で、内容は概ね次の項目です。

- ① 病院の理念と組織的基盤（診療理念の確立など）
- ② 地域ニーズの反映（地域における役割の認識など）
- ③ 診療の質の確保（診療録管理など）
- ④ 看護の適切な提供（患者や家族の尊重など）
- ⑤ 患者の満足と安心（プライバシーへの配慮など）
- ⑥ 病院運営管理の合理性（医療事故防止への対応など）

当院は、病院機能評価の認定証を職員全員の努力で取得しましたが、その過程で今後さらに改善すべき問題点も明確になりました。これからも職員全員で、地域の基幹的・中心的な病院として、質の高い医療サービスを提供していくため、問題点の改善に職員全員で努力致してまいります。

診療 理念

「人間性豊かなアカデミズムの実践」をモットーにかけ、常に最新の医学知識と医療技術をとり入れた高度の医療を提供すると共に地域に密着した医療活動を行う事によって、地域住民から厚い信頼を得るよう努力する。

総合太田病院は企業が母体の病院であるから企業人として、地域への利益還元という立場からも、病院が地域住民との信頼関係をさらに深め、保健、医療、福祉の面で大いに貢献することが大切である。



（財）日本医療機能評価機構
平成7年に設立。主な役割は医療機関を第三者の立場で評価し、医療機関が質の高い医療サービスを提供していくための支援と評価・認定を行っている。

Technical Preview

PART 1

次世代の画像診断へ

【 放射線CR撮影システム 】

放射線CR撮影システムは、X線撮影にフィルムを使わない次世代のデジタル処理システムです。デジカメのようにフィルムを使わないので再撮影などで何度も放射線を浴びる事などを防ぐように患者さんの健康にも配慮されています。撮影されたデータは5年間は必要な時にいつでもディスプレイで確認でき診察の効率化に役立っています。



● CRとは(Computed radiography)の略称で、イメージプレートという記憶媒体にデジタルデータで画像を保管するシステム。

プロが教えるケガの応急処置法

〈手関節 足関節 骨折・捻挫編〉

一般的に、骨折と捻挫を見た目で見分けることは非常に困難です。しかし、骨折であろうと、捻挫であろうと一般家庭でできる応急処置に大きな差はありません。今回はご家庭でもできる手関節、足関節の捻挫や骨折に対する応急処置について述べたいと思います。



今回の講師



総合太田病院
整形外科医師

城本雄一郎先生

1 【まずは症状のチェック!】 腫れや痛みがあったら 要注意!

手関節は転倒した際に手をつくことで、足関節はなんらかの原因で足をひねることで捻挫や骨折をおこすとその部分が痛くなり、徐々に腫れてきます。



2 【どんな方法で?】 腫れや痛みを抑える RICE法で応急処置!

痛みや腫れをなるべく抑える目的で応急処置を行います。応急処置はRICE (ライス、お米の意味) と表される頭文字に要約されています。R=REST (安静)、I=ICING (冷却)、C=COMPRESSION (圧迫)、E=ELEVATION (挙上) です。



3 【いよいよ応急処置!】 これが具体的な手順!



編集ルームより

今回 患者役の総合太田病院
総務課 茂木 千絵子さん

病院に勤めていてもなかなかこうした応急処置は体験できないので、とても勉強になりました。これから運動会やアウトドアの機会が多くなるので、もしもの時に心強いです。



これらの処置はあくまでも応急処置に過ぎませんので、必ず医師の診察を受け、正しい治療を行ってもらうようにして下さい。

太田市の誕生

文＝太田高等看護学院 事務局長 武正菊夫



写真解説 ● 1917年、中島知久平が設立した飛行機研究所（現在の富士重工業の北工場）当時群馬県に1台しかなかったという乗用車。

今から80年ほど前のこと。太田市は新田郡太田町と呼ばれ、呑竜様の門前町として知られる静かな所であった。時代が大正から昭和へ移ると、大日本帝国は深刻な不況の打開策を海外に求め、満州事変を起こした。

その頃、尾島の地に発足した中島飛行機研究所が大光院の東側に進出し、呑竜工場と称する。当時、まだ実用化されていない飛行機の製造にいち早く着手したのが、一代の風雲児「中島 知久平」である。

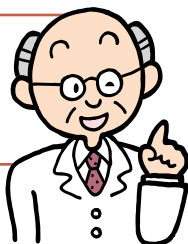
中国戦線は拡大し、ようやく飛行機の重要性に気づいた軍部は、本格的な生産を中島に要請する。このため全国から優秀な技術者が集められ、八幡地区は住宅ラッシュになり、太田は大工業地帯に変貌していく。

人口も一気に5倍となり、病気やケガに対応すべく大病院の建設が急がれた。しかし、医師の確保などむずかしい問題が生じ、遅々として進まなかった。

〈つづく〉

INFORMATION

病気などの お悩み相談を ご希望の方に

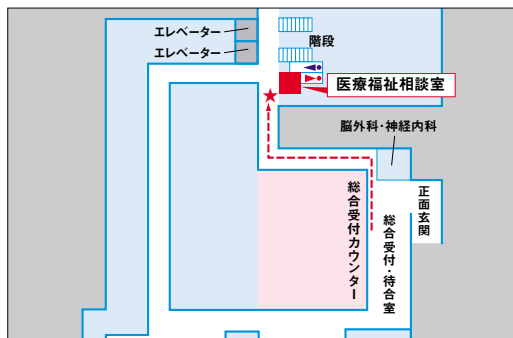


場所／医療福祉相談室
(中央病棟1階 エレベーター前)

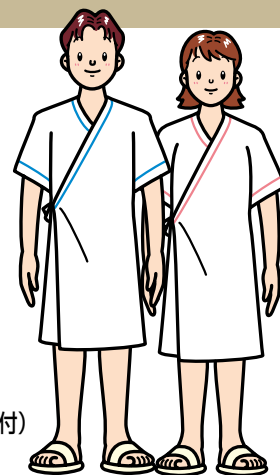
当院では病気になった事から起こる、心配やお悩み等の相談を実施しております。相談をご希望の方は、各科受付や看護師にお声をかけてくださるか、医療福祉相談室へ直接おこしください。ご相談いただいた方のプライバシーは、お守りいたします。

相談費用は無料です。

受付時間／(月～金) 9:00～17:00
(土曜日) 9:00～12:00



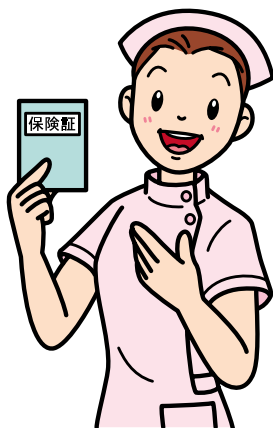
人間ドック・各種検査の お申し込みについて



総合健診部では各種健診を実施しております。ご希望の方は下記の連絡先または健診部受付までお願いいたします。

健診内容／短期人間ドック、日帰りドック、
脳ドック、企業健診、他

お申し込み／0276-22-1031 (健診部受付)



保険証、 公費受給者証 確認のご案内

総合受付では毎月保険証および公費受給者証を確認しております。患者様にはご負担をお掛けしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。



富士重工業健康保険組合
総合太田病院

TEL.0276-22-6631(代) FAX.0276-25-7498

〒373-8585 群馬県太田市八幡町29-5 <http://www.ota-hosp.or.jp>